

つづやき

このコーナーでは各県の相談に対するとりくみ等を紹介していきます。

教育四者でつくる教育相談室

はじめに、山梨県には他県には例のない、山梨県教職員組合、山梨県PTA協議会、山梨県公立小中学校校長会、同教頭会の教育関係四団体でつくる「教育四者」というものがあります。「未来を担う子どもたちを幸せにする」という共通の目的のもと、教育に関わる様々な活動を連携して行っています。

山梨では、1982年4月、教育四者による教育相談室を開設しました。県内8つの地域にある教育会館にそれぞれ相談室を設置し、教育相談活動を実施していますが、山梨県内の教育関係者が一体になって組織化した教育相談室のスタイルは、全国的にも独特なものとなっています。それだけに、相談員は学校現場を退職した教員のOBが勤め、身近にある貴重な相談室として、県内全域をカバーしています。

また、県内には、他にも多くの教育相談機関や相談員がいます。スクールカウンセラー、市町村青少年カウンセラー、家庭相談員をはじめとしたたくさんの相談員が、それぞれの立場で相談活動に携わっています。これらの相談員は、それぞれ研修会等の機会を通して互いに連携を密にして、とりくんでいます。

なお2007年度より、本教育四者相談室は多様な悩みに対応できる相談室をめざし、県教育委員会、山梨大学とも連携をして、相談事業を充実、発展させてきています。

2013年度 相談者数内訳

①相談対象件数 * () は電話相談 内数

小学生	中学生	幼児	高校生	一般	合計
42 (16)	14 (4)	0 (0)	2 (0)	2 (2)	60 (22)

②延べ相談者数 * () は電話相談 内数

本人	父親	母親	祖父母	教職員	その他	合計
1 (0)	4 (0)	51 (21)	5 (0)	3 (1)	0	64 (22)

山梨県の自慢

山梨の組合組織率は、ほぼ100%です。この現状を保つことが出来ているからこそ、教育四者の協力体制が成り立ち、「子どもたちのための教育」をめざした活動を進めることが出来ています。

県内各地から姿を見ることが出来る世界文化遺産登録された日本一の山、富士山に見守られながら豊かな心を育てる「山梨教育」をこれからも続けていきます。

